

岩手郡医報

昭和56年6月-No.2-

編集／発行

岩手郡医師会



北上川の源流弓弭（ゆはず）の清水

天喜5年、八幡太郎義家公が、東征のおり、炎天下に兵馬が苦しむのを忍びず、觀音に祈念して矢尻で岩をうがいたところ、こんこんと清水が湧き出て、これにより兵馬元気になりのち、ことごとく勝利を得たという

この泉加美川に注ぎ、以来北上川と呼ぶ。（いわて町觀光パンフレットより）

そばの記念碑には母なる川北上川は岩手町御堂觀音、弓弭の泉を源とし蜿蜒（247）キロメートルを流れて石巻の河口で太平洋に注ぐ。川の流れの悠久を思い、自然の恵みに感謝し北上川源泉のこの地に本碑を建立す。ときざまれて居ります。（写真 近藤先生撮す）

行事関係の報告

1. 当医師会関係

(イ) 昭和56年4月新入会員

山田 わか子先生 岩手医大

滝沢村 山田小児科内科医院

(ロ) 学校医部会

4月16日玉山村ふるさとにて開催

出席者、会長。両副会長。秋浜担当理事の外安代町、伊藤、松尾、二瓶。西根町、森。岩手町、久慈。葛巻町、早藤。滝沢村、高橋（牧）。竿石町、長谷川。各位一ヶ町村一人宛学校医代表出席の上、下記の事項につき協議す。

下 記

本年度当医師会の学校保健の重点項目として

(A) 学校保健委員会の完全実施

(B) 小中高校各一年生に対する、循環器検診

(C) 小中校各一年生の扁平足の調査

(D) 養護教諭との懇談会並に学校保健に関する講演会の開催（秋浜理事担当）

(イ) 新薬価基準点数早見表並に改訂診療報酬点数表を全会員に無料交付のため社会保険研究所に注文す。

(ニ) 扁平足調査のため町村教育委員会に協力依頼す。

(ホ) 新医師会名簿の原稿を送付す。

(ヘ) 新会員田村公一、山田わか子両先生より予防接種承諾書を提出せらる。

(ト) 医師信金総代は組合員の全員一致の推薦により選挙を省略従来の四氏に決定す。

2. 医師会関係

(イ) 6月28日県医総会時の表彰者について
(県医師会より)

(ロ) 修学旅行時の救急患者の応急処置依頼について
(鎌倉市教育委員会より)

本件は会員宮沢謙先生に依頼す。

(ハ) 昭和56年度日医会費について（日本医師会よ

り）前年同様にしてA会員年額6,200、B会員年額22,000、C会員年額6,000徴収方法は前年通りとす。

(ニ) 県立中央病院改築に関し県医師会よりの要望書（県医師会より）を送付す。

(ホ) 学校医幹事会（5月9日）

秋浜、上野出席 協議内容別紙の通り

(ヘ) 保険問題協議会（5月19日）

高橋（牧）先生出席 内容は次号に

(ト) 勤務医部会幹事会（5月30日）

玉山先生出席、協議内容次号に

(チ) 医療情報システムに関する会議（5月28日）
会長出席、協議内容は次号に

3. 医師国保関係

(イ) 人間ドックの利用について

(ロ) 医師国保規約の一部改正について

4. 医師国保組合共済会関係

健康診断計画について

安代町、松尾村、岩手町に希望者あり

詳細は希望者に後報の予定

5. 予防医学協会関係

管内小中高校一年生の循環器検診一斉に開始せらる。

6. 医師信金関係

5月23日総代会議開催

上野、宮杜、土谷、早藤各総代出席

7. 5月13日、日本医師会より下記の電報がまいりました。

下 記

自民党は医療保険法部会案と、老人保険法案を修正することなしに国会に提出を決定した。自民党社会部会はこれをうのみにする模様である。医師会は今後自民党に対し従来と異なった対応する必要がある。

日本医師会長 武見 太郎

昭和56年度初の学校医師会開く

第1回学校医部会総会幹事会

日 時 昭和56年5月9日(土)

午後2時30分より

場 所 岩手県医師会館中会議室

人 員 40名中25名出席

1. 開 会

1. 会長挨拶

A 報 告

(1) 昭和55年度活動報告

(2) 昭和56年度各都市医部会活動テーマ

(3) 心、腎対策委員会資料及び健康診断体制整備委員会について

(4) 日医主催、学校保健研修会

(5) その他

B 協 議

(1) 昭和56年度事業計画の実施

1) 岩手県学校医大会開催への準備促進

2) 心、腎検診対策の推進

3) 第6回北日本学童心臓病予防研究会の開催

4) 学校保健委員会の結成促進

5) 学校医部会幹事会及び総会の運営の強化

6) 学校P.T.A等学校保健関係団体との連携

7) 耳鼻科検診方法の検討

(2) そ の 他

(イ) 学校医手当について

本県の手当は全国平均に比し若干低い。これは文部省の規定は、標準学校を基準にして地方交付税の中に学校医手当を含めて、自治体に交付しあるも、本県には標準学校（1学級45人の18学級生徒数810名）は僅少、特に郡市には極めて少ないため低いのが実情なり。

(ロ) 小中校児童生徒の心腎検査の完全実施に伴い財政的裏付を計る様要望あり。

(ハ) 現在薬剤師会が担当して居る検尿を同一医師、同一医療機関、検診委員会がタッチできる様でなければ実施の意味がないと言う点で意見の一一致をみた。

従って郡内もこの方向で前向きに進めたい。

(ニ) 耳鼻科検診について

現在県内で耳鼻科検診は約60%実施せられ、約40%は未実施なり、医師の不足と辺地小規模校多きためと認めらる。この実情に鑑み県医師会長より耳鼻科学会岩手地方部会長立木孝先生（岩手医大耳鼻科教授）へ

下記の点について御意見御提言いただき度御願いします。

下 記

岩手県に於ける児童生徒の耳鼻科検診のあり方とその方策について

以上（上野、秋浜）

学校医部だより

扁平足調査委員会初会合開く

日 時 昭和56年4月16日 PM6、30

場 所 玉山村渋民 “ふるさと”

出席者 11名（全員参加）

委員会次第

1. 岩手郡医師会長挨拶

2. 議 題 扁平足調査に関する件

(イ) 実施方法 色々と忌憚のない意見が続出するも

本年度は全郡下、小中一年生のみを調査対照とす

る。

(ロ) 費 用 最小限度但し用具（紙等）は郡医師会で製作したものを使用する。

(ハ) 判定基準 長谷川、森、早藤、各委員より専門的且建設的な意見が述べられ8月以後に更に会合を持つ事とする。

(ニ) 期 間 一学期末（7月20日）迄とす。

(ホ) 送 付 玉山村秋浜医院又は最寄の医療機関

とした。提出を受けた医療期間では小院まで御届け下さい。

(ヘ) 発表 岩手郡医師会報に掲載の事、及び協力校に一部ずつ贈呈する。(約100部) 但し全部無償とする事。

3. 閉会及び結び

有意義な会であった。郡医師会として初の試みである。

先づやって見よう。会員各位の協力を望むや切に!

なお当日否、当夜遠路態々御出席下された各委員に謝意を表す。

追記

4月21日某村の学校保健会に出席した処費用が多くなれば村自体で経費を持ち小一、中一年生ばかりでなく全生徒児童の扁平足調査に協力すると言う甚だ力強い教育長の発言のあった事を付記する。以上

第11回岩手県医師会親睦海釣大会についてお知らせ

7月12日(日)釜石の唐丹湾で開催予定。

前日の7月11日(土)午後6時30分より釜石市唐丹「小白浜レストハウス小白浜」で前夜祭懇親会をやります。

当日の7月12日(日)午前5時唐丹湾小白浜岸壁より出港。午後1時帰港。

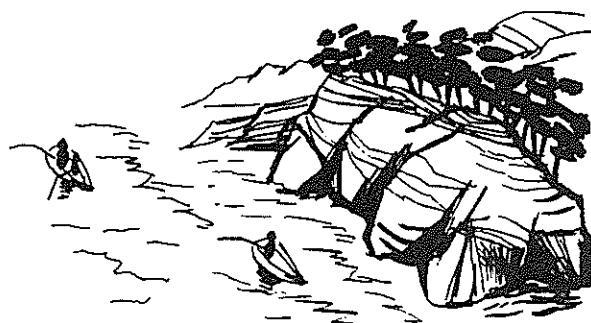
当日の参加者は午前4時30分までに小白浜岸壁に集合して下さい。

会費は郡医師会にて負担致します。

参加希望の会員及び家族、事務員の方は6月30日迄に11日の宿泊要否も含めて上野会長まで申し込み下さい。尚詳細については今回の担当幹事宮杜までお問い合わせ下さい。(電話01969-2-3203御明神診療所)

[おさそい]唐丹湾は風光明媚なところ、いつもは波静かです。朝日を迎ぎ船で一ぱいやりながらの釣はストレス解消にもっていきます。釣れる魚はアブラメ、カレイ等ですが時には大ダコが釣れてびっくりすることがあります。又このタコは非常においしいです。

釣り方も簡単です。針に餌をつけ船頭の言うがままに竿を上下に動かせばググッとかかるから来ます。ふるって御参加下さい。



鳴呼 あの頃

上野 精三

昔から人間過去を語る様になれば、人生のゴールが目前でラストスパートをかける頃と言われて居ることは皆様御存知の通りです。確かに私もラストスパートをかけるべき時期でゴール迄あと百二十米位、正に第三コーナーに差しかかって居りますが、幸か不幸か昭和十六年五月北支中原会戦の戦斗で右膝関節部を受傷したのが原因で歩行には支障ありませんが、走ることは不可能で、多数の医専同級生、同期衛生部幹部候補生、其の他戦友、部下、友人に追越され、未だ人生のゴールのテープを切り得ないで居る次第であります。

(一) 徵兵検査の頃

思い起しますと、私は満洲事変の真只中、昭和七年三月岩手医専の一期生として百一人の方々と一緒に卒業させられましたが、卒業生の大半約六十名の方は入学前にすでに兵役関係を終了され、残りの約四十名は戸籍欄の男と言う字に○印をつけられて居れば悲しんでもくやんでも避けて通ることの出来ない国民の三大義務の一つと言われた徴兵検査が待ちかまえて居るのでした。

ただ、在学中の学校教練では卒業後兵役に服さねだならない様な学生に対しては配属将校の日當の指導には特別にきびしいものがありました。其の当時は兵役を待つと云う気持はさらさらなかつたのですが、昭和七年五月徴兵検査の通知が参り甲種合格といわれ逮捕された訳です。

当時の徴兵検査風景を再現してみますと最初一時間は学科試験で算術、国語の試験が行われ（但し中学校以上の学校卒業生はこの試験は免除）

次に、広い身体検査場で身長、体重、胸囲の測定が補助者である衛生下士官によって行なされました。其の時身長一米五十八厘米未満の者は身長の部が終ったらすべての検査を省略して直に徴兵官（歩兵大佐の聯隊区司令官）の前に行く様に下士官から指示され所謂軍隊用語の短尺者はここで国民兵役に編入と宣告され生涯兵役と無縁となる訳です。当時の社会情勢を考えるとこの方々は多数の面前で国民兵に編入すると言わると顔面蒼白となって真に氣の毒な今にも泣き出しそうな顔になりますが、一度検査場から出るとそれは、それはどうして喜々として小さな体の肩をいからせて社会に出て行くのでした。それにくらべて当時私は身

長一六五cm、体重六十二kg、裸眼視力左右〇、八なんと運悪く育ったものかと親を怨んでも後の祭りでした。徴兵官の前におっかなびっくり参りますと、徴兵官は一通の書類を差し出して、これを岩手医専の配属将校但馬中佐（後南戦線で活躍名譽の戦死をされた故少将）に持って行く様指示されました。私が徴兵官の前で書類を見て居りますと“但馬中佐が学校で待って居る故早く持つて行く様”重ねて言われたので、私は徴兵官に“この書類を書いて又ここに持つくるのですか”と尋ねたら“但馬中佐が全部書いてくれる故印を押したなら君は帰つてよろしい。これで君の徴兵検査は終り”と、宣告されました。後で考えてみますといとも簡単な検査で、すべてレールの上を走る電車の様誠に順調すぎる検査でした。

当時兵隊は壱銭五厘（ハガキ一枚の値段）で馬は三百円から百式拾円位でした。軍馬は甲乙丙丁戊の五種類あって、旅団騎兵、師団騎兵、砲兵、輜馬輶馬と最初から決められて居りました。この中の性質のおとなしいのが将校乗馬として使用される訳でした。

壱銭五厘の兵隊は入隊後の努力で肩の星に差が出てくる訳です。私はいとも簡単に甲種合格を宣告され、渡された書類の中に、幹部候補生志願証書と言うのが一枚入って居てそれを但馬中佐が書いて私の印を捺印して出した為に、やがて兵役に服する結果となった訳です。

当時の従軍歌に

一つとせ 人の嫌がる軍隊に

志願で行く様な馬鹿もある

ここで言われた志願の意味は心から軍人が好きだと言う意味でなく、格好よい将校になるか、勇ましい下士官になるか、或は苦勞多き兵隊になるか、自分の好きなものを自分で選べと言う意味が多分に含まれて居ると解するのが正しいと思われました。一部には楽な将校と言う考えもないわけではないけれど、いざ将校になってみると楽なんて言うものでなく、責任と任務の重大さを考えれば楽と言う言葉は将校には皆無でした。私はこの様に考えて約十年間の兵役を経過して参りました。今思えば十年間の兵役で私に残されたのは“健康の素”ただ、一つです。

これは私達衛生部幹部候補生として、入隊させられましたが、最初は歩兵一等兵でした。

次号ではいよいよ地方人と最初の別れを告げ当時の帝国陸軍軍人となる状況を述べます。

以上

趣味漫筆（その二）

近藤純造

中学二年からは親戚の下宿に移ったがこの頃になるともっと高級なカメラが欲しくなり名前は忘れたが名刺版の乾板蛇腹カメラを買い、下宿の押入れを暗室代りに使用し現像焼付を楽しんだものである。その頃柳新道と仁王通が交叉するあたり佐々宗の筋に向いたりだったと記憶しているがカメラ屋があり、乾板や印画紙を買いてゆく度にショーウィンドウに飾られている高級機を飽くことなく見つめては溜息をついたものである。このカメラで盛中の時計台や長町田んぼから岩手山を写したりしたものだが現像してみると写っている筈の岩手山がうまく写っていないこともあった。フィルターなどというものを知らなかつたことや乾板の整色性の問題もあったことと思う。盛中の高学年ともなると、家にあったカメラも公然と扱えるようになり、又幻燈機のレンズを利用して引伸しの真似事もしたし、貞夏の押入れで汗だくで現像した乾板のゼラチン膜がメロメロにはがれてがっかりした事もあった。この頃になると安物の乾板カメラではあきたらず、ロールフィルムを使うカメラを欲しくなるのは当然で、当時人気のあった安物カメラの一つであるセミライラというのや又蛇腹を使わないハイカラなアルゼンとか豆カメラのミゼットなどを愛用したものである。このミゼットという豆カメラはがま口様のケースに入った可愛いカメラで現在豆カメコレクターの間で人気のある代物で我が家が家のどこかに現存している筈であるがまだ見付け兼ねている。

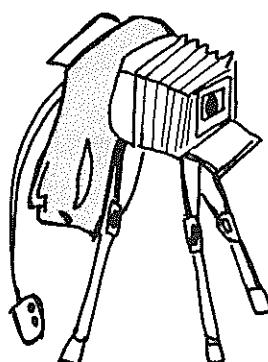
この時代のカメラはその大部分が外国特にドイツのカメラ、例えばツアイス・イコンの製品であるイコンタ、セミイコンタ、ベビーイコンタなどの貌真似であり又中には国産のボディに輸入したレンズやシャッターを組込んで売り出したり、沢山の会社から多くの機種を競って販売しているが外国製品に比較すると材質とか工作精度に格段の差があり、故障し易く、現在では満足に作動する美品などは極多にお眼にかかりずこれ又コレクター諸氏の目標となっている様である。この頃はローライを真似たミノルタフレックスとかプリンスフレックスとかロールコンターなどの二眼レフもあったし又ライカを真似たレオタックスやキャノンからも各機4Sbの母体となった機種も出始め国産35ミ

リ機胎動の時代でもあったが忍びよる戦雲に潰滅する時代のはじまりでもあった。この戦前のカメラで私の手許にあるのはセミパールとスーパーセミミノルタだけであってパーレット、アルゼン、セミライラなどはどこでどうなったか行方不明である。

昭和14年旧制水戸高校入学時も古ぼけたセミライラとアルゼンとそれに新らしくセミパールが加わって柳行季の中に入っていた。盛岡中学の名投手として鳴らした菅野先輩が野球部の主将をしていた関係で、野球のヤの字も知らない私も無理矢理入部させられてしまきを受ける羽目になるのであるがこの頃はカメラなるものは高い安いに不拘遊びの要素というものが多く又中級スプリングカメラにしても生活費に比べて馬鹿高くしかも高校生でカメラをさげて歩いたりする奴は軟派視される風潮にあり、練習のきつい故もあってカメラをもて遊ぶひまも殆んどなく、しかもシーズンオフともなると柳暗紅燈の巷に出没する機会が多くなり、カメラは時計などと共にかつこうの質草となり、入学してすぐに馴染となつた保坂質店の蔵の中にいる機会が多くなり、時々うけ出してはスナップ写真をとる程度で青春時代の華ともいえる水高時代の記録が意外と少なく今もって甚だ残念の極みである。この頃は寮で歓迎ストームや寮祭などの行事があると出入りの門藤写真館のおやじがオートプレスミノルタなるカメラを持ってきてあちこち写し希望者に写真を頒布するというやり方をしていたが、このカメラも當時非常に興味の対象のひとつであった。2年になって寮の委員をしていた関係でこのおやじと親しくなりオートプレスミノルタだけでなく写場の組立てカメラものぞかせてもらいソルントンシャッターの軽快なひびきにうっとりとしたものだったがその写真館にメッチエンがいて彼女を目当てに通っている連中も多く誤解をさける為に残念乍ら数回で訪問を打切ってしまった。水戸の街は当時盛岡よりも田舎でカメラ店をのぞいてもライカやコンタックスその他ドイツのカメラが少々申し訳程度においてあるに過ぎず、しかもドイツからの輸入も途絶えている関係で他はこれら海外カメラのイミテーションである国産カメラが並べられている位で、セミライラなどの初級者向きのカメラでも60円以上もし生活費に比べて非常に高価でありミノルタフレックスやハ

ンザキャノンなどに至っては到底高嶺の花であった。野球部の友人で入学祝に当時の国産高級二眼レフであるロールセンターを買ってもらった人がいたがそのカメラは上下レンズの調整が狂っているのが常にアトビンで我が愛機の安カメラよりも写りが悪く、大いに意を強くしたことがあったがこのロールセンターも我々のアドバイスによって質草と化してしまったのであった。最近の資料によるとこのカメラは当時故障の多いことではNo.1だったと記されている。又この頃庭球部の友人で親父が大のカメラマニアだったのでライカとコンタックスIIaをもてあそんでいる人がいて生れて始めてこれらの高級機を触らしてもらったが、国産カメラとは段違いの仕上げと感触にただただ遡れが出る丈でいつの日いかこのようなカメラをと心にきめていたのであるがまだ手許不如意でこれらのカメラを手中に出来ないでいる。当時我々の1月の生活費が一切合財ひっくるめて40円位の時代であり、これらのライカやコンタックスは、レンズにもよるが大体1300~1700円位であったと記憶しているが、いかに高価な代物であったか御想像いただけると思う。当時、時々上京する機会があったがムーランルージュを視たり古本屋あさりをするかたわらカメラ店も時々のぞいてみたものである。その頃は神田や本郷にも結構カメラ店があり陳列棚におでこをくっつけるようにして眺めてみるのだが何しろ弊衣破帽・長髪にボロマント高足駄といったスタイルなもので店員もうさん臭そうな目付でじろじろ眺めるし外国の高級品にはとうとう触らせてもらはず遡れが出る丈であった。東北大に入学した頃は質屋からうけ出した愛機の他に亡義兄の形見のレフレックスコレレという一眼レフ(6×6判)が愛機の仲間入りをすることとなった。この頃はすでに日本も第2次大戦の仲間入りをしており、感光材料も次第に不足勝ちになっていたが、一番丁のカメラ屋のおやじと仲よくなり何かとフィルム類も廻してもらっていて撮影も楽しめた。このカメラ店では数個の貸暗室を店内にもつておらず引伸機なども整備されており、大いに利用したのであるがどうしても印画の水洗時間が短かくなり今残っている写真も変色した写真が多いようである。その頃水戸出身の仲間達と青葉城散策をして仙台市街をバックに記念撮影をしたことがあったが当時は軍機保護法というのがあり高所からの撮影は厳禁であり、その現場を憲兵にみつかりフィルムを没収され大目玉をくったことがあったが、フィルムをすり替えて手渡し

あとで大笑いしたことがあった。海軍軍医委託学生という身分が物をいって大事に至らなかつたが考えてみると仙台の街の航空写真位は当時アメリカさんはとっくに撮影済みであつただろうし全く馬鹿げた話である。こういったいきさつもあってカメラの方もいつしか飽きがきて愛機群も再び質草となることが多くなった。このレフコレレも亡弟にあづけて戸塚海軍衛生学校に入ったのであるが、その後このカメラも消息不明となってしまった。恐らくアルコールに化けて亡弟の腹中を素通りしたものと推察される。戦時中土浦海軍航空隊に配属された時レントゲンの下士官が集検用間接撮影用のカメラであるルビコンを使ってスナップをやっていた。このルビコンは小西六の製品でその後の名機コニカI型の母胎となったカメラであり、カメラ好き



の私もこの下士官と仲よくなりひまさえあればカメラ談義に花を咲せていた。終戦になって復員する時にこのルビコンを失敬してやろうと狙っていたのであるが我々の方が復員が一番後廻しなってしまい、前述の下士官に先を越されたのか手にすることが出来ず全く残念であった。終戦後はしばらくの間は食うのに追われてカメラどころではなく、たまに闇市でフィルムを手に入れてもこれがとんでもない代物だったりで、この頃の写真というのは殆んど残っていない。終戦後の我国のカメラ工業も戦前からのストック部品などをもとに細々と再起のきざしをみせたが国内需要には程遠く進駐軍のPX用に向けられていた。昭和21年頃になると先ずスプリングカメラなどの生産が再開されたが生活に追われる安月給とりとしてはこれとても安々と手に入れることが出来ない状態であった。昭和22年頃からぱつぱつと高級カメラであるキャノンⅡS、ミノルタ35、レオタックスDⅢなどのフォーカル機が出てきたし、又マイクロとかスナッピーなどの豆カメラもみられるようになってきた。昭和23年に長女誕生。その後間もなく小西六からコニカI型という手頃のカメラが発売されカメラマンを狂喜させた。これは前述のルビコンを改良発展させたものでコダック式接点内臓ヘキサーレンズの鮮銳さで抜群の人気を集め高級機を買えない我々にとって、かっこうのカメラであった。

一戸病院に勤務していた私も、乏しい月給の中から25,000円もするこのカメラを特殊のルートを通して免税扱いで17,000円位で入手し、子供の成長記録をとり始めたのである。当時は漸らく敗戦の痛手から立ち直り大小有名無名のカメラ会社が種々雑多なカメラを作りはじめたが故障も可成り多く、この頃のカメラで健康体で残っているカメラは極めて少なくコレクターの間でもひっぱりだこである。（次号につづく）

落 餓 鬼

T、M

○ のどかな春の庭さきで、耳の聞こえない七十ばあさんが、ツルベ戸で水汲みをしていたと、礼義正しき若者が、“ばあさん水くみが、元気いいなや”と挨拶したと、ばあさん“なに ウン、ウン、わがった、今にさせるがらな”とヘッタど、（たしか水汲みだと思うが。）

- 仕事すんで、夕はんすんで、夜になった。しばらくして、八十ぢいさんが、もようしたと、”ばあさんどうだ”とゆすったと“ぢいさんなんだでは”ばあさんが言ったと。“ばあさんやあれだでは、あれ”ばあさん歯のない口をモグモグさせで“それだばあした卵二つも食べてからにしてけれ”“ウンニア今だ！”ノミがうるさくねエばかりでもいい”とぢいさんヘッタそうな。（ヘッタ=言った）
- ろくに酒ものめないぢいさんで、おどりならなんでもこい。ねん仏でも、なにわ節でもなんでも舞ってやる、ウソだと思ったらウナッテみろ、ただな、エヘンとブーだけはおどれないじや、と言った人が本当にいました。のどかな里です。

編集後記

北国の野や山はようやく春を迎え、若芽萌え出で生氣を呼び戻した様です。

第1号は盛り沢山で題字、カットの紹介をしませんで失礼しましたが、題字は高橋孝先生の揮毫したものですし、チャグチャグ馬っここの画は長谷川先生のものでした。両先生に感謝申し上げます。表紙の岩手山の写真は宮杜が写したものですが春がすみの為か山の格好が出ず残念でした。今回の表紙の写真は近藤純造先生のものです。尚表紙には各町村の名所とか風景とかをのせる予定でありますので画或は写真等をお送り下さい。印刷には白黒の方がよいとのことです。

趣味漫筆、近藤先生のカメラの博識にはおどろかせられます。

今回より上野会長の回顧録と言いましょうか自叙伝と言いますか連載で始まります。

この頃日本人にはユーモアがないなどと言われて居りますのでらく書きをのせました。おしゃかりを受けるかも。

重ねてのお願いですが会員の先生方どしど御投稿願います。（M）